

平成27年度 事業報告

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

1. 法人の概要

学校法人大原学園 認可年月日

住所：奈良県奈良市富雄元町1丁目13-41 TEL0742-47-1111

設置する学校・課程・学科

設置する学校・学部・学科の入学定員・学生数（H27年5月1日現在）

| 設置する学校 | 学部・学科 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 | 備考 |
|----------|-------|------|------|----|----------------------|
| 大原和服専門学園 | 和裁科 | 100 | 200 | 20 | |
| | 和裁専攻科 | 90 | 90 | 8 | |
| | 和裁研究科 | 60 | 60 | 7 | |
| | 着物染織科 | 30 | 90 | 7 | 平成27.4よりきもの科より名称変更 |
| | 着物工芸科 | 15 | 30 | 5 | 平成27.4よりきもの研究科より名称変更 |
| 合計 | | 295 | 470 | 47 | |

役員概要（平成28年3月末日現在）

○理事 定員6名 現員6名

| 区分 | 氏名 | 常勤・非常勤の別 |
|-----|--------|----------|
| 理事長 | 大原 敏敬 | 常勤 |
| 理事 | 大原 美江 | 常勤 |
| 理事 | 吉田 季世子 | 常勤 |
| 理事 | 熊谷 宝子 | 非常勤 |
| 理事 | 黒島 敏 | 非常勤 |
| 理事 | 中川 博文 | 非常勤 |

○監事 定員 2名以上3名 現員2名

| | | |
|----|-------|-----|
| 監事 | 中村 徹 | 非常勤 |
| 監事 | 高橋 直嗣 | 非常勤 |

評議員の概要（平成28年3月末日現在）定員数13名 現員13名

| 氏名 | 主な現職 |
|-------|---------------------------|
| 吉田季世子 | 大原和服専門学園学務部リーダー 卒業生 |
| 酒井道子 | 大原和服専門学園学務部リーダー 卒業生 |
| 村橋恵子 | 大原和服専門学園学務部リーダー 卒業生 |
| 谷清美 | 大原和服専門学園学務部 卒業生 |
| 森田智子 | 大原和服専門学園 職員 栄養士 |
| 大原加容子 | 大原和服専門学園 職員 |
| 大原美江 | 理事 大原和服専門学園事務長 |
| 熊谷宝子 | 理事 京都きものコンサルタント協会理事長 |
| 黒島敏 | 理事 (株)びん工房 代表取締役 京友禅伝統工芸士 |
| 大原健嗣 | (株)ayanasu 代表取締役社長 |
| 大原文子 | 大原和服専門学園 卒業生 |
| 渡部朋子 | 大原和服専門学園学務部 卒業生 |
| 出口あけみ | 大原和服専門学園学務部 卒業生 |

○教職員の概要（平成27年5月1日現在）（単位：人）

| 区分 | | 計 |
|----|----|----|
| 教員 | 本務 | 7 |
| | 兼務 | 24 |
| 職員 | 本務 | 6 |
| | 兼務 | 8 |

2. 事業の概要

(1) 事業概観

平成27年度は、在校生数が増加に転じ、入学生の増加施策、退学者減少施策、学科及びカリキュラム内容の改定など様々な施策が結果に結びつく状況になりました。

特に、健康状況や学習状況を教職員間で連携共有した細やかな指導対応や保護者等との緊密な対応などを心がけ、退学者が0名となり一定の成果を出すことができました。

学園としては安定し継続できる学園運営をすることがお預かりする学生への第一の責任として考え、現在進めている様々な施策をより一層踏み込んで行き成果につなげていきたいと考えています。

○学校評価体制の整備

1. 自己点検自己評価委員の実施

学園内自己点検自己評価委員を充実させ、学校関係者評価委員会の実施を踏まえた自己点検自己評価を実施しました。

2. 学校関係者評価委員会の実施

学園で実施した自己点検自己評価報告書を踏まえて、多角的に当学園の活動を評価するための委員を選任し、学園関係者評価委員会を開催しました。委員の選任では、着物業界や伝統工芸業界が大きく変化していることを踏まえて、着物業界ディレクターや着物のマーケティング研究者も選任しました。

(学校関係者評価委員名簿)

- 西村典久 (奈良県専修学校各種学校連合会 会長)
- 加納 始 (奈良県職業能力開発協会 専務理事)
- 石崎 功 (KDCplanning 代表、きもの業界プロデューサー)
- 藤井浩一 (就職先企業代表・藤井絞帯代表取締役社長 京都きものアルチザン代表)
- 吉田満梨 (立命館大学経営学部 准教授)
- 古川公子 (卒業生)

平成28年2月6日(土) 14:00~

学校関係者評価委員5名出席 学園関係者7名出席

平成28年3月19日(土) 14:00~16:10

学校関係者評価委員5名出席 学園関係者7名出席

平成28年3月28日(月) 理事会にて学園長より学校関係者評価報告書を報告

○教育、授業関連、学科編成 等

1. 学科編成の改編

現在、すべての学科にコース名をつけて学生募集をしているが今後の学園を取り巻く社会情勢を踏まえると学科名で統一していくほうがよいと判断し、平成29年4月生より学科を再編成します。学生のニーズや資格要件を整理し、和裁研究科(4年制)和裁科(2年制)和裁科を卒業した学生が入学できる和裁専攻科(1年制)、着物染織科(3年制)、着物工芸科(2年制)の5学科に編成をいたします。

和裁科(2年制)

和裁の基礎学科として位置付けており、着物の知識及び和裁の基礎知識と基礎技術を習得することを目

指しています。和裁科卒業後は、和裁専攻科への入学、和裁研究科への編入が可能といたします。

和裁専攻科（1年制）

プロ和裁士の技術の目安として必要な国家技能検定・和裁技能士2級と着物の他装の国家技能検定・着付技能士2級の取得を目指し、着物を着せる技術も兼ね備えたプロ和裁士として必要な知識と技術の修得を目指しています。

和裁研究科（4年制）

プロ和裁士として必要な実践的な知識と技術の習得と共に、多様化する社会に対応するための高度、特殊、応用、親和性のある技術の習得も目指し、より専門性の高い和裁技能士の育成を目指しています。加えて日本で最大のプロ和裁士の団体である（一社）日本和裁士会の卒業認定も卒業年次に取得可能であり、認可後は高度専門士の称号が付与されるよう申請を行う予定です。

また、教育スキルも身に付け、職業訓練指導員免許和裁科の取得もめざし、指導者として伝統技術継承に貢献できる人材育成も目指しています。

着物染織科（3年制）

伝統的な染織・図案の技術とデジタル技術を両方身に付けることができる学科です。染色・織物・図案の知識と技術の習得し、手技の基本を2年で身につけます。3年次では染色・織物いずれかを選択し技術の専門性を高めていくとともに、デジタル対応できるようにグラフィックツール実習を導入。フォトショップ・イラストレーターを使うことができるスキルを身につけます。また、作家活動の基本としてプロダクトビジネス実習として商品企画、制作、広報、販売まで一貫して行います。この活動の一環としてSNS活用するためにデジタルメディア演習も行います。

着物工芸科（2年制）

着物染織科の卒業生や経験者を対象とし、独立開業できる作家活動を身につけ実践する学科です。

また、染色技能士（3年に1度）着付技能士の資格取得も目指します。

教育スキルも身に付け、指導者として伝統技術継承に貢献できる人材育成も目指しています。

○着物振興・ものづくり振興活動

奈良県下の小学校・中学校・高等学校において奈良県職業能力開発協会と学校からの依頼によるモノづくり振興・着物振興と当学園の認知度を上げるための体験授業を実施。本年度は小学校1校・中学校3校・高等学校1校 計5校にて行った。

| 年月日 | | 人数 | 体験内容 | 講師 |
|-----------|-----------|------------------------|-----------|--------------|
| H27.9.10 | 奈良市立鳥見小学校 | 教員12名 | 箸袋作り | 教員1名 学生1名 |
| H27.10.15 | 奈良市立鳥見小学校 | 5年22名 (男子10名・女子12名) | 箸袋作り・浴衣着付 | 教員2名 学生5名 |
| H27.10.19 | 斑鳩町立斑鳩中学校 | 教員10名 | 箸袋作り | 教員1名 学生7名 |

| | | | | |
|-----------|-----------------|----------------------|-----------|--------------|
| H27.10.29 | 奈良県立磯城野 高等学校 | 35名 (男子2名・女子33名) | 浴衣着付 | 教員2名 学生6名 |
| H27.11.19 | 斑鳩町立斑鳩中 学校 | 21名 (男子6名・女子15名) | 箸袋作り・浴衣着付 | 教員1名 学生5名 |
| H28.1.28 | 生駒市立上中学 校 | 20名 (男子10名・女子10名) | 箸袋作り・浴衣着付 | 教員2名 学生5名 |

本年度よりNPO和装教育国民推進協議会奈良県支部に加盟し、奈良県内中学校における和装教育推進のためのゆかた着方教室のモデル授業に協力

| | | | | |
|----------|---------------|---------------------|------|------|
| H27.8.22 | 奈良市立飛鳥中 学校 | 22名 (男子5名・女子17名) | 浴衣着付 | 教員1名 |
|----------|---------------|---------------------|------|------|

○就職等進路

1. 就職については業界との積極的な連携の結果、年々好調になってきており、就職を希望する学生全員関連業界に就職することができました。関連業界への就職率が全卒業生のうち88.8%という結果になりました。また、今年度は当学園を卒業して服飾関連の大学院への入学した卒業生もいました。

2. キャリア教育を強化するために、企業講演会を実施しました。

平成28年2月2日(火) 2F講堂にて

染織こだま 代表取締役 児玉健作さん (宮崎県宮崎市)

「普段着着物を主に販売されている呉服店のビジョンや企業活動について」

○学生募集、学園広報活動、卒業生との連携

1. 学生募集活動について

近年、海外からの資料請求の増加や見学者の増加を受けて、留学生の受け入れについて検討しました。学生専用寮があり寮監も専任でおり受け入れ体制については問題ないと判断し、留学生募集要項の作成を行いました。今後すすむ少子化をふまえると留学生の受け入れを積極的に図っていきたいと考えています。

2. 業界イベント・技能振興イベントへの参加

業界との関係強化・卒業生との連携強化を目指して、業界イベントなどに出展し、業界内での学園の認知度向上につながる活動を引き続き実施しました。

また、奈良県内技能関連団体と協力して技能振興活動にも積極的に参加しました。

和祭(日本伝統文化祭)

平成27年10月10日(土) 11日(日)

当学園の地元地域の認知度向上とモノづくりの若手の活動支援のため、日本伝統文化祭を当学園にて開催しました。

奈良県技能フェスティバル

平成27年10月31日(土)・11月1日(日)

橿原公苑にて技能フェスティバルがあり一般の方にモノづくりの楽しさを体験してもらいました。

第5回きものカーニバル in 京都

平成27年11月21日(土)・22日(日)

出店数29店 来場者850名 教職員8名 学生11名

和裁体験・織物体験・学校のパンフレットなどの配布

きものサローネ in 日本橋

平成27年11月8日(木)・9日(金)・10日(土)

江戸桜通り地下歩道 きもの100体スタイリズム

商品企画の授業で製作した学生企画作品「ジャンクきもの」の展示

○(株) a y a n a s u との連携

和裁各科及び着物各科等の学生作品を販売することにより、材料費の負担軽減と市場の動向を把握するために(株) a y a n a s u と連携し後継者育成事業を推進しています。本年度は着物染織科・着物工芸科の学生のローケツ染め手染め手ぬぐい、のれん、トートバック、手描き友禅帯などを販売いたしました。

○着物企業社員研修の受け入れ

平成27年7月9日(木)・10日(金)

(株)たちばな 〒380-8503 長野市鶴賀緑町2214 社員6名

和裁・染色・織物全般の研修を実施しました。

(2) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地などの説明

| 所在地 | 施設等 | 面積 | 摘要 |
|--------|--------|-------|----|
| 奈良県奈良市 | 校地 | 2088㎡ | |
| 奈良県奈良市 | 校舎通路地 | 128㎡ | 借受 |
| 奈良県奈良市 | 校舎建物 | 3144㎡ | |
| 奈良県奈良市 | 学生寮敷地 | 624㎡ | 借受 |
| 奈良県奈良市 | 学生寮建物 | 938㎡ | |
| 奈良県奈良市 | 職員住宅敷地 | 432㎡ | |
| 奈良県奈良市 | 職員住宅建物 | 366㎡ | |

この他鳥取県伯耆町に休止中のホテル敷地4075㎡、建物2272㎡、岩手県に保養施設を所有している。

② 主な施設設備の取得または処分計画及びその進捗状況

教育活動に関係しない施設は基本的に処分をする方針であるため、休止中のホテル及び岩手に保有している保養施設は売却など処分をすすめていく。休止中のホテルについては平成27年度中に分離する予定であったが、引受先の計画の状況により平成28年度以降にずれ込む予定であります。